



～子どもも大人も一緒に学校づくり地域づくり～

はたえっこ

糸島市立波多江小学校学校通信

令和7年度 第6号 文責 校長 重富 泰敏

令和7年6月13日

波多江小いじめ防止基本方針（学校HPにも掲載しています）

「いじめ」は、子どもの人生や命に関わる重大なことであり、絶対に許されない行為です。

本校では、いじめ問題について、国・県・市のいじめ防止基本指針をふまえ、「いじめは、人間として絶対に許されない」という強い認識をもって、いじめを生まない教育活動の推進、いじめの早期発見の取組、地域・家庭との積極的連携を継続的に図り、組織的に取り組んでいます。

いじめとは、以下のように定義されています。

「いじめ」とは、児童等に対して、…一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットも含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

…と、あります。つまり、どんな些細なことでも、その子にとって「苦しさや心配、不安」につながる行為はいじめであり、「いじめ」に、「そのくらい…」はないと考えています。

いじめは決して許されるものではありません。しかし、どの学校でも、どの子にも起こりうる問題です。

いじめを生まないためには、いじめを許さない厳しい目と、子どもの小さなサインも見逃さないあたたかな目をもって対応することが必要です。

波多江小学校では、次のように考えています。

- いじめられたとする児童の立場に立って対応すること。
- いじめはどの子にも起こりうるという姿勢で臨むこと。
- 日常的に子どもを見守り、指導し、共感的な人間関係づくりに努めること。

早期発見のため、毎月のアンケートや年間2回の保護者アンケートを実施しています。アンケートの際のみならず、日常からトラブルやケンカの際には、子どもたちの状況について事実確認を確実にし、子どもたちの理解と納得の上で指導を行い、今後の子どもたちの成長につなげています。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等、専門機関や専門職と連携・相談し、教職員もチームとして取り組んでいます。保護者の皆様におかれましても、いじめの定義や、いじめに関する取組内容について御理解していただき、以下の点について、御協力をお願いします。

- ◎日常を通して、お子様の気になることや心配な言動があるときは、学校に相談してください。
- ◎トラブルやケンカ等については、学校でしっかり聞き取り、事実確認をしてから、指導を行います。
- 情報が届かず、学校側がキャッチできてないときは、次の日に必ず対応します。連絡をお願いします。
- ◎「今まで様子を見ていたが…」ではなく、子どもたちのために、気になったその時に連絡をお願いします。

図書委員会「紙芝居読み聞かせの会」

図書委員会による「紙芝居の読み聞かせの会」が行われました。

委員会の子どもたちも、本番に向けて、練習を一生懸命行い、たくさんの子どもたちが、楽しみにして参加してくれました。学校全体でも、図書司書の前田先生を中心に読書活動推進のイベントが行われる中で、委員会の子どもたちが中心となり、主体的な読書につながる活動が行われていることは、大変素晴らしい事です。今後の御家庭での読書活動の充実にもつなげていただきたいと思います。

6年 「楽しそうに見ていた全学年のみんな」

最初は、少し聞いてくれるか心配だったけれど、みんなが楽しそうに見ている様子が見られて、とてもほっとしました。紙しばいをたくさん見てくれてうれしかったです。

6年 「喜んでくれた紙芝居」

私は、図書委員会だから、読む側できんちょうしたけど、きらきらした目でうれしそうに聞いてくれて、私もうれしくなりながら読めたのでよかったです。これからの紙芝居も自分からやりたいと言ってちょうせんしたいです。

5年 「初めての紙芝居」

初めてみんなの前でうまく読めるか、ドキドキしました。週に2回、紙芝居の練習をして、お友達と協力しながら発表しました。きんちょうしたけど、聞いてくれてうれしかったです。来年も紙芝居をやりたいなという気持ちと次はもっとうまくできるようにがんばりたいです。

ブロック開き

5月29日(木)、縦割り活動のブロック開きが行われました。赤・青・黄・緑の各ブロックの6年生がリーダーとなり、「楽しさ」「協力」「団結」を大切に各ブロックの活動が始まりました。

この縦割りブロック活動が日常の交流、縦割り掃除、波多江小まつりにつながっていきます。

ブロック活動を通して、縦の関係づくりと学校での豊かな関りや協力につながっていくことを期待しています。

6年 「赤ブロック ブロック開き」

私は、ブロック開きで司会をしました。練習では、クラスの人みんなとてもよくできていましたが、本番のときは自分のセリフなどをきん張のせいか忘れて、あまり団結できませんでした。なので、次のクラスマッチでは、たくさん練習してもっと団結できるようにしたいです。

6年 「青ブロック ブロック開き」

青ブロックのみんなが楽しめるようなブロック開きにするために、2組のみんなでたくさんの意見を出し合いました。当日は、みんなで協力してブロック開きを進めることができたし、他の学年からも笑顔が見られたのでよかったです。青ブロックを引っ張っていけるよう、ブロック長がんばります。

6年 「一番楽しかったブロック開き」

ブロック開きで1年生から6年生までのスローガンすべて、とてもすてきな目標で、とてもすごいスローガンだったと思います。下級生のみなさん、6年生の劇やマツケンサンバダンス楽しかったですか？ぼくはとても楽しくできたし、思いっきりできたのでよかったです。これからも、仲のよい黄ブロックにしていきたいと思います。

6年 「がんばったブロック開き」

ぼくは学級しょうかいを担当しました。学級しょうかいの準備では、セリフを考えたりしました。本番でみんな笑ってできたからいいと思いました。

本当に頼もしい波多江小学校の高学年の姿です。縦割り活動や委員会活動を通して、高学年の子どもたちは、リーダーとして、学校を楽しくしてくれています。下級生のみんなもそんな高学年の姿を見て、やさしさやあたたかさにふれながら、「こんな上級生になりたい。」「自分も楽しくがんばっていきたい。」という気持ちの広がりにつながっていくと考えます。

ありがとっ！**よっしゃ！嬉しい！波多江っ子クリーン活動**

ありがとっ！

ありがとっ！

子どもたちの自主的なクリーン活動の写真です

ありがとっ！